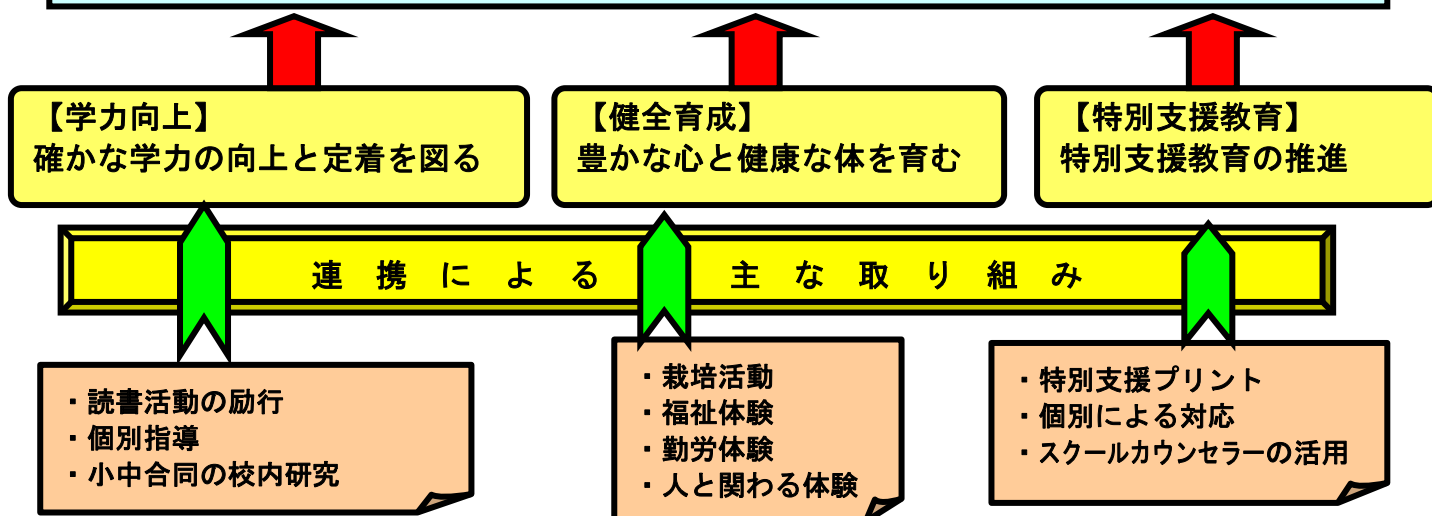


# 東小・中学校の小中一貫教育

目指す児童・生徒像「夢と希望を持ち、社会の一員として生き抜く児童・生徒」



## 【学力向上】 確かな学力の向上と定着を図る

	小4～小6	中1	中2	中3
読書活動の励行	◎読書力は全ての教科の下地となるものである。そこで、わずかな時間も活用し読書することを励行する。そのため、読書のための本を身近に置きいつでも読めるようにする。小学生が読む本は、すぐに読み切れるものが多いので、学級文庫を充実させ、読みきったあと新たな本を探せるようにする。			
個別指導	◎各教科の指導は、一斉指導や少人数指導で進められるが、随時子どもの様子を見極め、担任だけでなく副担任や支援員などが個別に指導に当たるようにする。			
小中合同の校内研究	◎校内研究は、東小学校、東中学校の教員がその垣根をはずし、一緒に進めていく。この中でグループに分かれ研究を進める場合も、小中一緒のグループを作り、研究に取り組む。このようにして得られた、研究成果は、小学校、中学校共に日常の授業に生かされていく。			

## 【健全育成】 豊かな心と健康な体を育む

	小4～小6	中1	中2	中3
栽培活動	◎年間通した、おしゃれ村(栽培園)で、食物の栽培を行い、栽培した物を食する。	◎ワクワクフラワー（花を栽培する活動）を行う。栽培した花で学園内を飾る。この花は環境を美しくするだけでなく、来校者の目を楽しませる。		
福祉体験	◎次のような福祉体験を小学生、中学生一緒に行う。 ・目が不自由な方から手話を教えていただく ・アイマスクを付け校内を歩く またその介護をする ・車椅子に乗った移動を体験する またその介助をする ・盲導犬にふれる体験をする ・福祉施設の方のお話を聞く			
勤労体験	◎学園内にある茶畑を利用し、茶摘作業を体験する。摘み取った葉は業者に依頼し、お茶葉に仕上げる。 ◎年間数回「美化デー」を定め、広い学園を一斉に清掃活動する。(学園主催の行事)			
人と関わる体験	◎高齢者福祉施設への慰問を行う(合唱披露、劇披露)	◎職場訪問を実施。働く人から話を聞く。	◎職場体験を実施。働くことを通して、職場の人等と関わる。	◎学校の外に出てボランティア体験をし様々な人と関わる。

## 【特別支援教育】特別支援教育の推進

	小4～小6	中1	中2	中3
特別支援プリント	◎学習支援の一貫として、個別に応じたプリントを用意し取り組ませる。東京ベーシックドリル等も活用するが、主要な教科については特別支援プリントを用意。その子どもが属する学年の枠にとらわれることなく、その子どもに合った内容から取り組めるようにする。			
個別による対応	◎学校でのいろいろな場で、随時、子どもの様子を見極め、担任だけでなく副担任や支援員などが個別に対応するようにする。			
スクールカウンセラーの活用	◎スクールカウンセラーは、小学校、中学校それぞれに配属されるが、なるべく同じ日に出勤するようにし、小学校から中学校へ情報提供ができるような体制を作っている。			

### 《東小学校、東中学校について》

青梅市立東小学校、東中学校は、児童自立支援施設である東京都立誠明学園内にある公立の学校で、学園に来ている児童・生徒への普通教育を行う。中学は1年生～3年生までであるが、小学校はその性格上4年生～6年生が受け入れ対象となっている。

子どもたちは、誠明学園に自立支援が必要となった時点で入り、必要となくなった時点で退園することになる。そのため、東小・中学校にいる期間は不定である。さらに、自立支援を必要とする子どもが集まるので、どうしても健全育成に関わる活動が多くなる傾向にある。

### 《本校の小中一貫について》

東京都立誠明学園内にある学校なので、青梅市で唯一、同じ敷地内、同じ校舎内に小学校と中学校が存在する。そのため、多くの活動が同じよう行われ、連携しながら進められている。そういう意味では、小中一貫が取り組みやすい学校である。特に一貫による取り組みの中で健全育成に関わる活動が多い。

なお、当然のことながら誠明学園との連携もとても大事である。子どもたちを育てていくための学園主体の行事も多くあり、学校も協力者として取り組んでいる。



茶摘



校内研究



車椅子体験



高齢福祉施設慰問